



山口子ども文庫だより 2026年 3・4月号

# くまのこ



山口まちづくりセンター TEL: 04(2924)1224

## 思い出の一冊

春の気配を感じる季節になると、思い出す絵本があります。それは『はなをくんくん』冬から春へと移り変わる様子が白黒の世界で静かに描かれ、最後に動物たちが一輪の黄色い花を見つけて喜ぶ場面は、読むたびに心が温かくなります。

春は、新しい生活が始まる方も多い季節です。入園・入学・就職、そして卒園・卒業・退職など、人生の節目が重なる時期でもあります。

私の娘が小学校に入学した時、お隣の方から『100万回生きたねこ』の絵本をいただきました。当時は理解できない部分も、成長とともに受け止め方が変わり、今では娘のお気に入りの一冊に。その絵本は世代を超えて受け継がれ、今は孫が時々手に取っています。

人生の節目に出会う本は、心に深く残るものです。皆さんも“山口子ども文庫”で思い出の一冊を探してみませんか？きっと、これからの季節に寄り添ってくれる本と出会えるはずです。

『はなをくんくん』(福音館書店)  
ルース・クラウス 文  
マーク・シーモント 絵  
きじまはじめ 訳



『100万回生きたねこ』(講談社)  
佐野 洋子 作絵



どくしよマラソン  
磯野 紗綾さん・磯野 裕翔さん  
磯野 西野 咲希さん・かわはたみなとさん

